

令和5年度

**宮崎県生活交通確保維持改善計画（案）
（宮崎県地域間幹線系統確保維持計画）**

（概要版）

宮崎県バス対策協議会

1 目的・必要性

高齢者や児童・生徒等若年層の通院、通学、買い物等、日常生活に不可欠な移動手段であるバス路線について、地域公共交通確保維持改善事業を活用することにより、その継続的な運行の維持・確保を図る。

2 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統

系統数：25系統（前年度比▲4系統）

3 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額等

- ・ 経常費用の見込額 約13.4億円
- ・ 経常収益の見込額 約9.1億円
- ・ 国庫補助申請額 121,099千円

（内訳）

宮崎交通株式会社（23系統） 118,961千円

鹿児島交通株式会社（2系統） 2,138千円¹

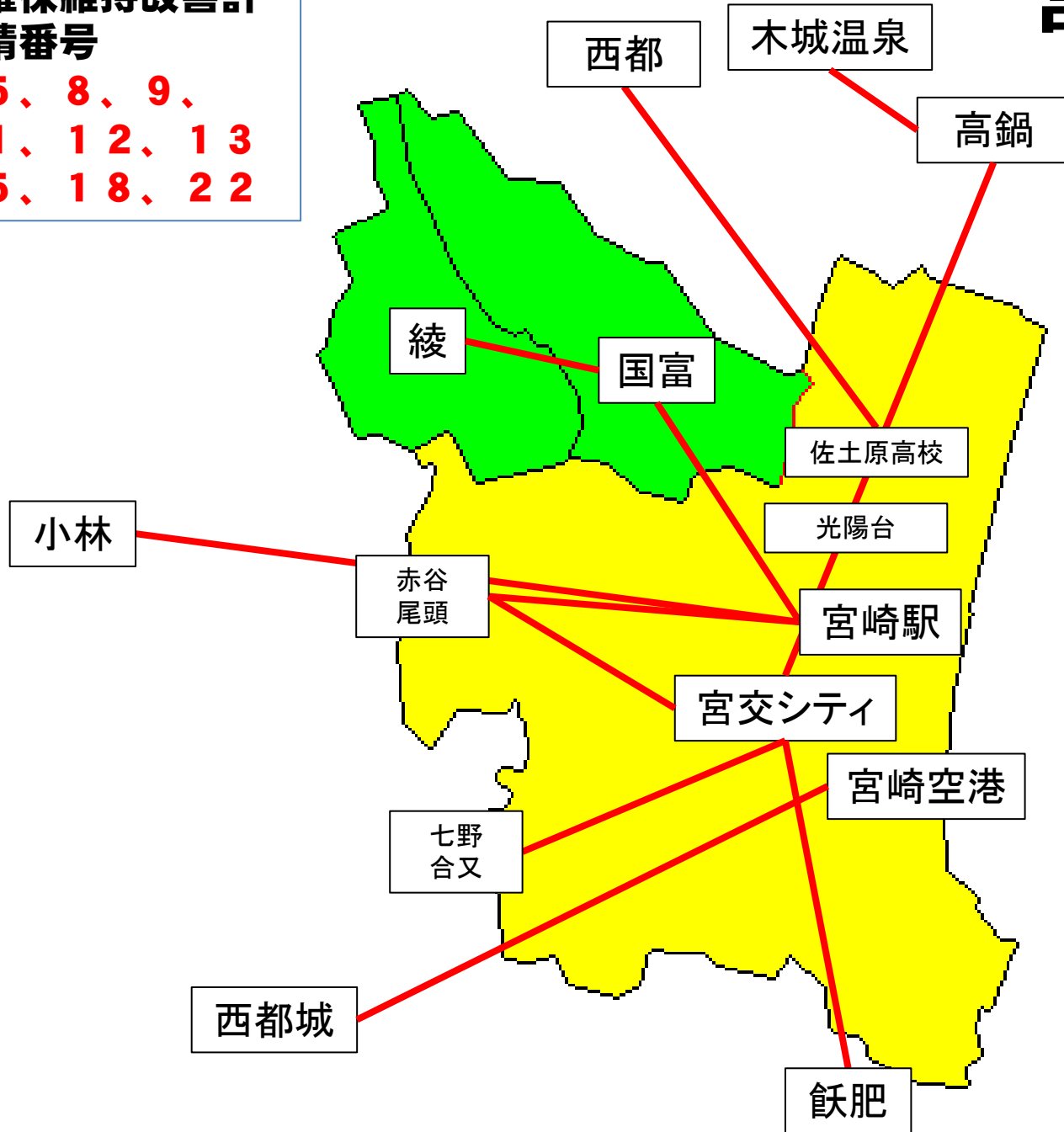
申請 番号	運行系統名	計画実車 走行キロ	補助対象 経費（千円）	国庫補助金 内定申請額 （千円）
1	イオンタウン日向～一ヶ岡・大福良団地～レーヨン	178,689.0	10,160.0	5,080.0
2	宮交シティ～高鍋駅～高鍋	123,666.0	6,838.0	3,419.0
3	高鍋～坂本～道の駅つの	108,663.2	5,124.0	2,562.0
4	宮交シティ～高鍋～木城温泉館湯らら	150,245.0	7,569.0	3,784.5
5	宮交シティ～光陽台	132,222.0	1,869.0	934.5
6	延岡駅～青雲橋・日之影町立病院～高千穂	260,232.0	14,799.0	7,399.5
7	延岡駅～日之影駅～日之影町立病院～高千穂	244,003.4	16,268.0	8,134.0
8	宮交シティ～佐土原小前～西都	402,114.6	19,391.0	9,695.5
9	（特急）小林駅～宮交シティ～福祉センター～宮崎空港	376,026.2	5,008.0	2,504.0
10	宮崎～宮崎空港～鶴戸神宮～飫肥	255,828.0	16,258.0	8,129.0
11	宮交シティ～国富～綾	406,179.3	19,030.0	9,515.0
12	宮崎～花見～赤谷	89,047.0	5,371.0	2,685.5
13	宮崎～祇園台・穆佐・小山田（高岡温泉）～尾頭	126,743.0	6,644.0	3,322.0

申請 番号	運行系統名	計画実車 走行キロ	補助対象 経費（千円）	国庫補助金 内定申請額 （千円）
14	宮崎～正手～七野	72,783.5	3,969.0	1,984.5
15	宮崎～正手～合又・田野運動公園	73,566.0	3,502.0	1,751.0
16	西都城～都城駅・イオンモール～小林	182,997.6	11,601.0	5,800.5
17	イオン都城～妻ヶ丘・イオンモール・都城駅～川原谷	60,864.5	2,101.0	1,050.5
18	（特急）西都城～都城駅・高速道・宮崎空港～宮崎駅	657,851.5	39,300.0	19,650.0
19	南延岡～浦城港～宮野浦	171,056.0	11,122.0	5,561.0
20	イオンタウン日向～道の駅とうごう	125,899.0	3,942.0	1,971.0
21	飫肥～油津～夫婦浦～幸島入口	165,126.0	9,833.0	4,916.5
22	西都～佐土原駅～佐土原高校	111,786.0	5,844.0	2,922.0
23	小林～市立病院～文化センター～道の駅えびの～京町	222,119.1	12,380.0	6,190.0
24	都城～岩川～野方～県民健康プラザ～鹿屋	174,763.2	2,458.0	1,229.0
25	志布志～稚児松～松山駅～岩川～中央通り～都城	107,096.0	1,818.0	909.0

宮崎地区

生活交通確保維持改善計画上の申請番号

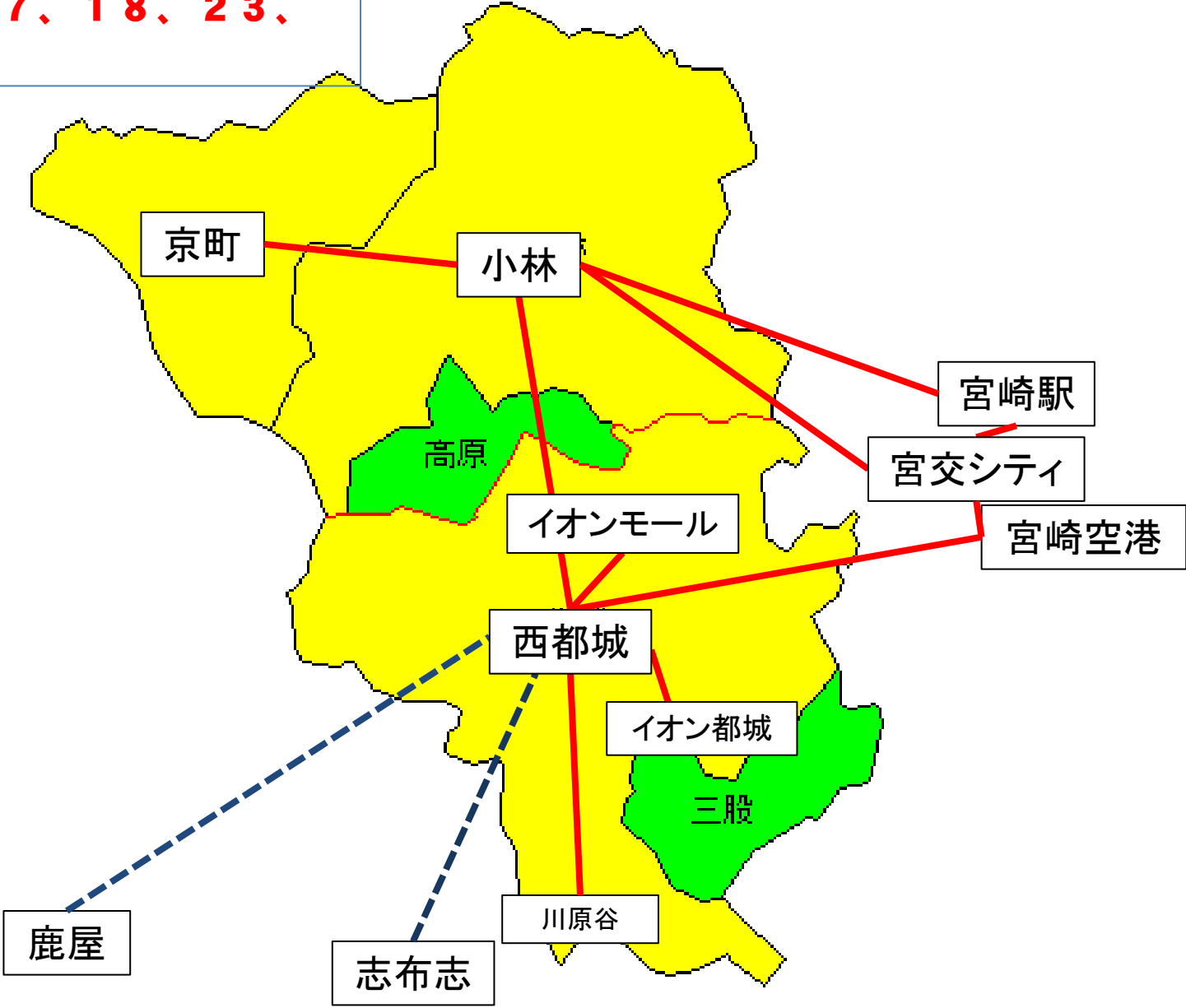
2、4、5、8、9、
10、11、12、13
14、15、18、22



北・西諸県地区

生活交通確保維持改善計画上の
申請番号

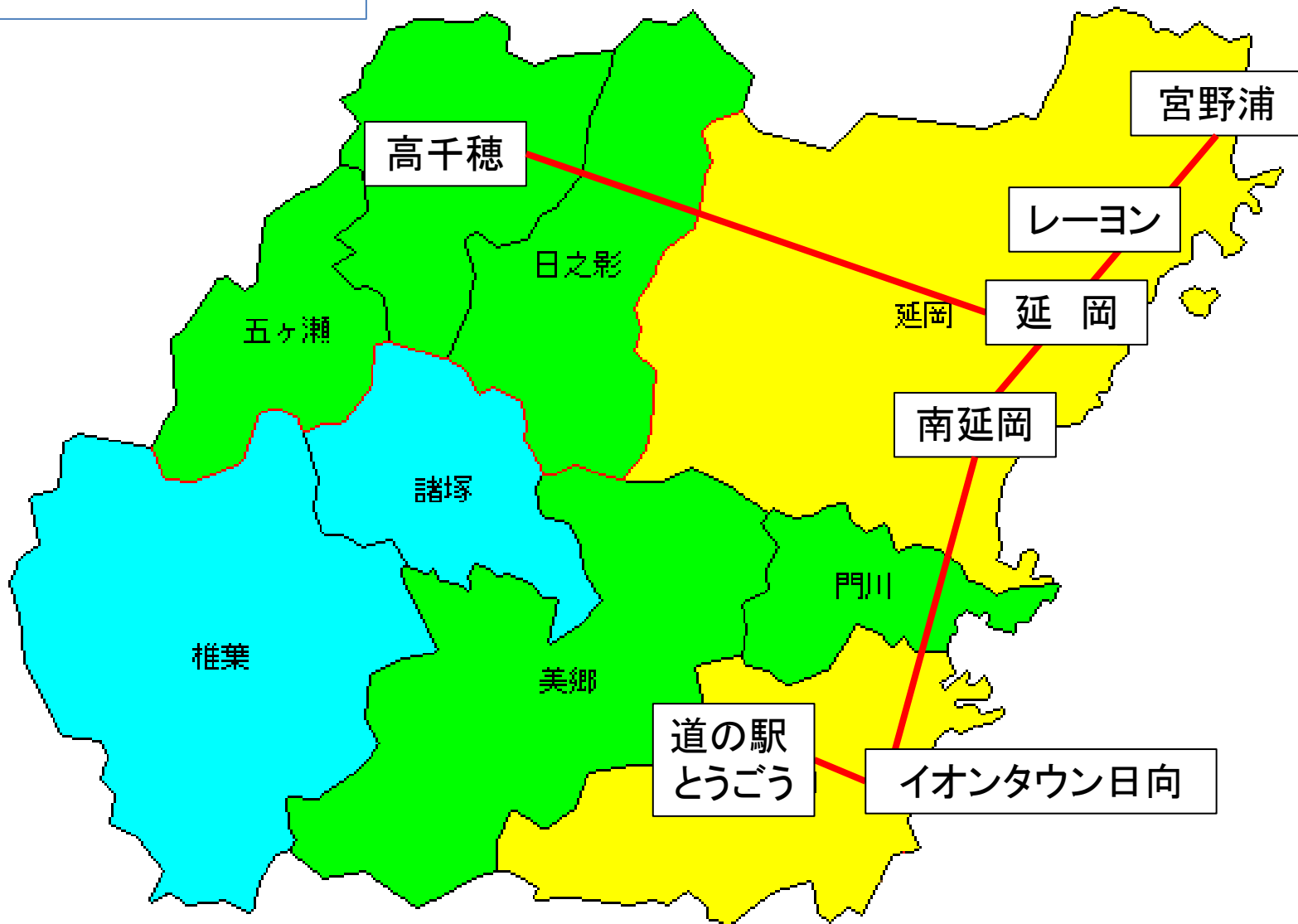
9、16、17、18、23、
28、29



生活交通確保維持改善計画上の
申請番号

1、6、7、19、20

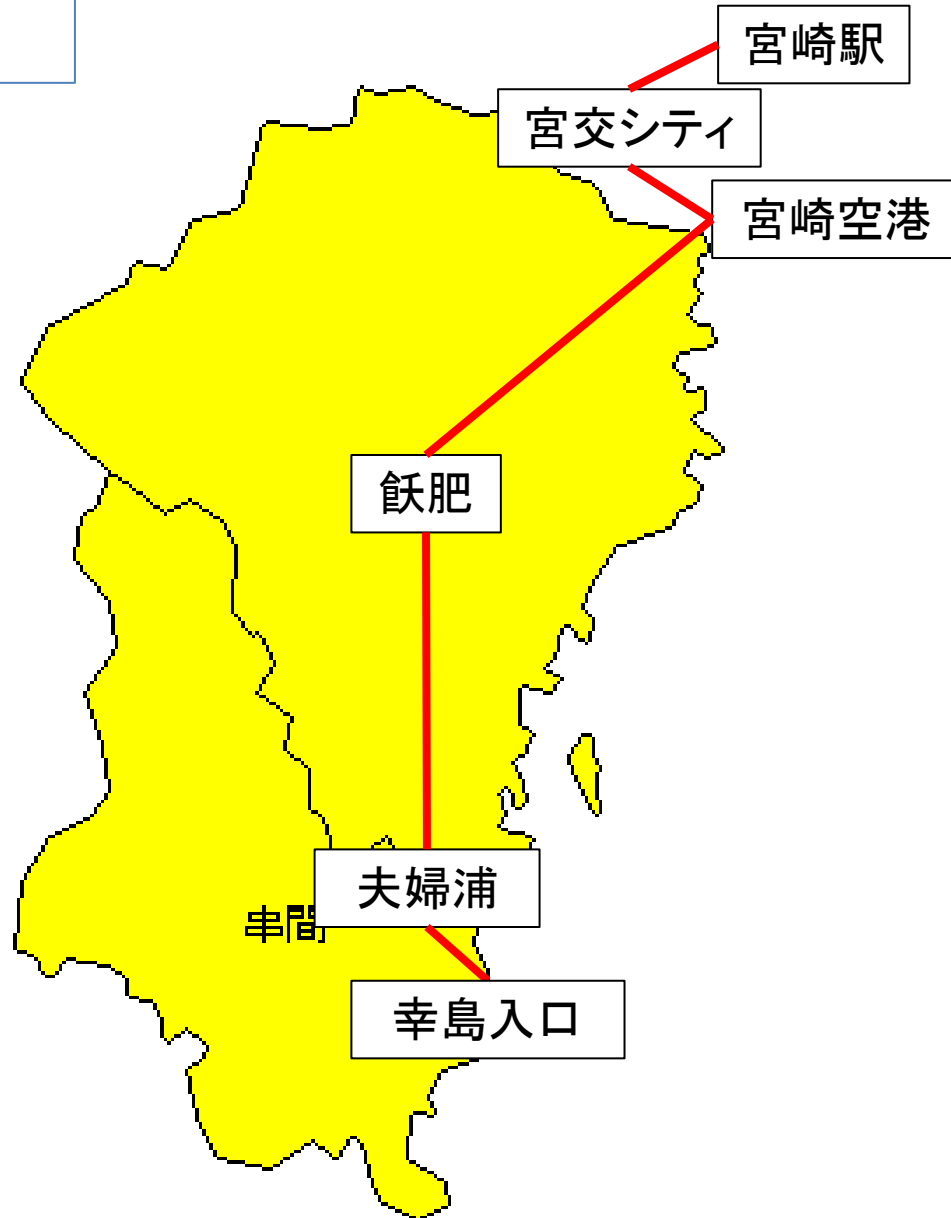
東臼杵・西臼杵地区



南那珂地区

生活確保維持改善計画上の
申請番号

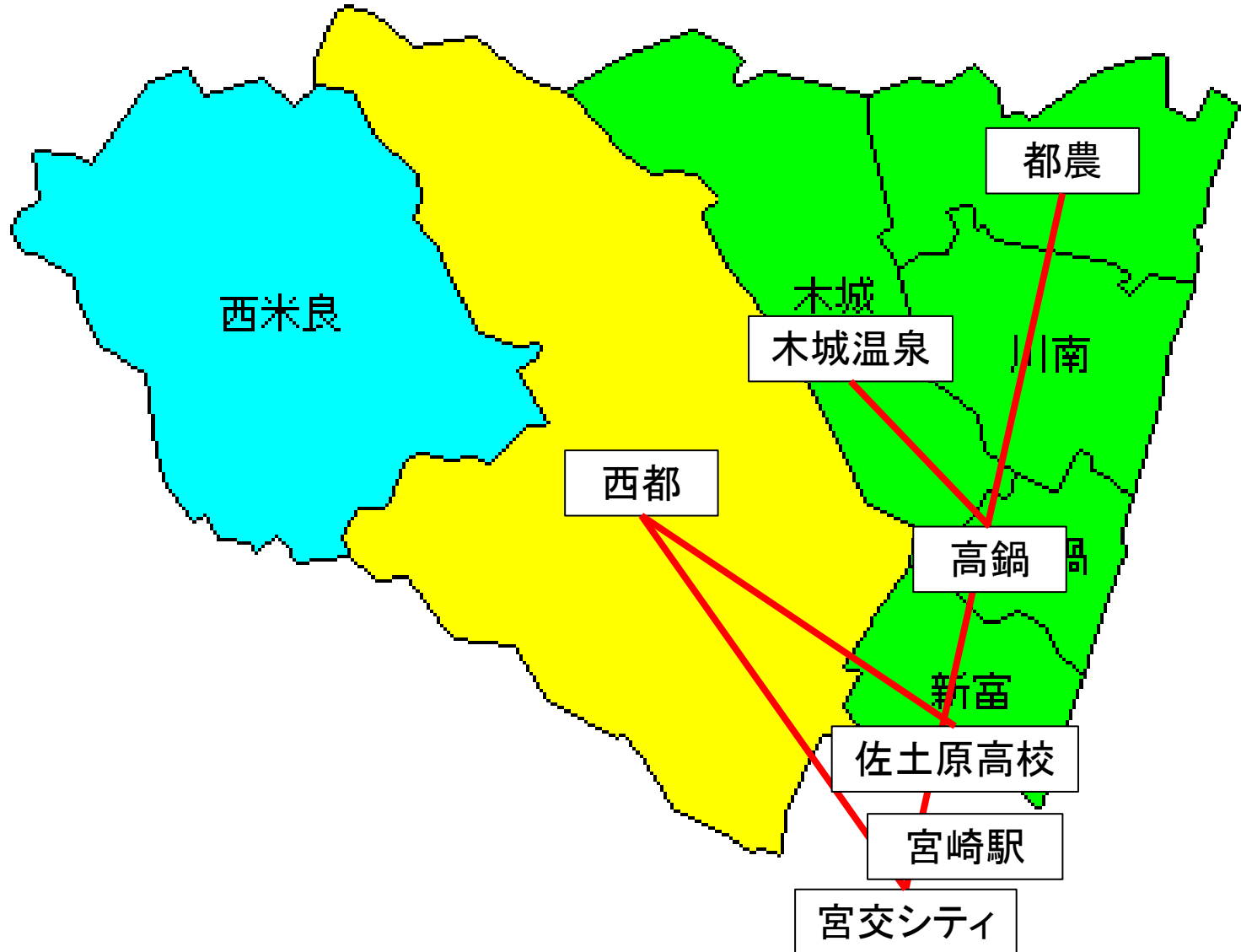
10、21



児湯地区

生活交通確保維持改善計画上の
申請番号

2、3、4、8、22



4 「みなし系統」の承認について 令和5年度計画で「みなし系統」の承認を要する8系統

申請番号2 宮交シティ～高鍋駅～高鍋

申請番号8 宮交シティ～佐土原小前～西都

申請番号9 (特急) 小林駅～宮交シティ～福祉センター～宮崎空港

申請番号1 1 宮交シティ～国富～綾

申請番号1 2 宮崎～花見～赤谷

申請番号1 7 イオン都城～妻ヶ丘・イオンモール・都城駅～川原谷

申請番号1 8 (特急) 西都城～都城駅・高速道・宮崎空港～宮崎駅

申請番号1 9 南延岡～浦城港～宮野浦

「みなし系統」の承認について

【原則】

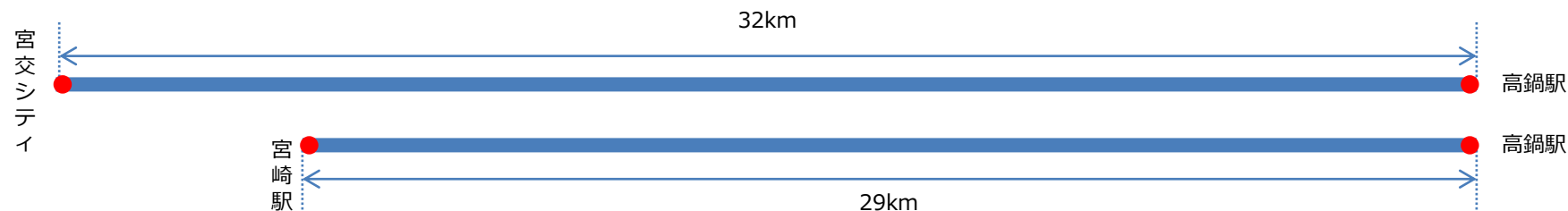
ある系統が補助対象（運行回数、輸送量など）であるか否かの判断は系統ごとに行う。

【例外】

ある系統と一部運行区間が異なる系統（経路地が異なる場合など）が存在する場合、これらの系統を1つに束ねた上で、補助対象であるか否かの判断を行うことができる。

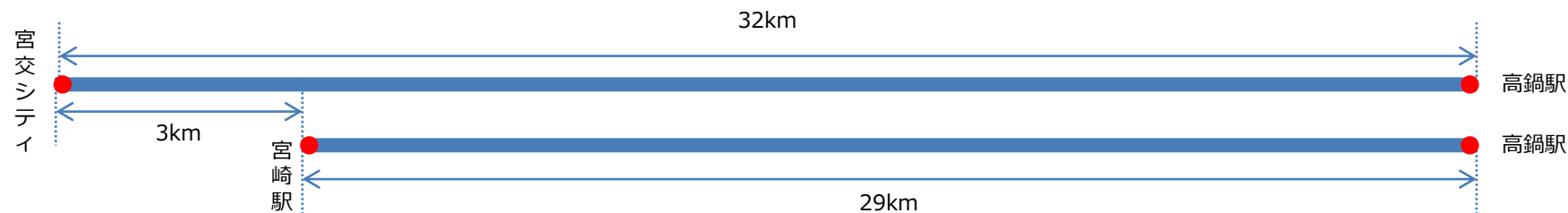
→ 単一系統では補助対象とならない系統も、他の系統と束ねることで補助対象となる場合がある。

〈原則〉「宮崎駅～高鍋駅」、「宮交シティ～高鍋駅」を通る系統がある場合



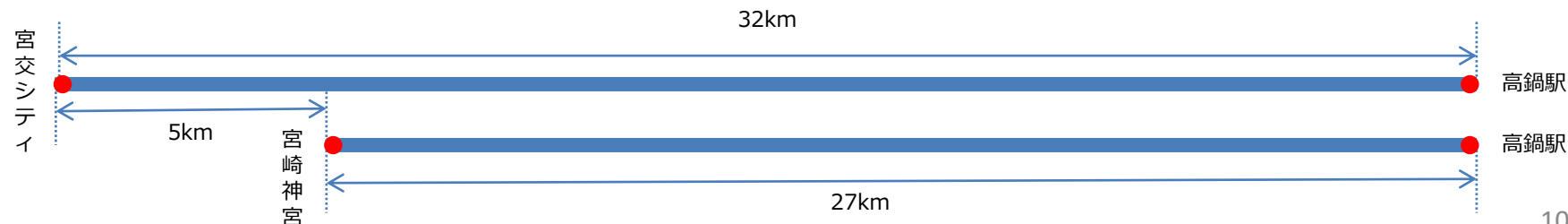
→ それぞれの系統ごとに、補助対象（運行回数、輸送量など）であるか否かを判断する。

〈例外1〉主系統と異なる運行区間が「10%以内かつ10km以内」である場合



→ 「宮崎駅～高鍋駅」を「宮交シティ～高鍋駅」のみなし系統とすることができる。

〈例外2〉主系統と異なる運行区間が「20%以内かつ20km以内」である場合



→ 協議会の承認があれば、「宮崎神宮～高鍋駅」を「宮交シティ～高鍋駅」のみなし系統とすることができる。

5 生産性向上の取組に係る取組内容等

■ 目標

令和3年度の実績（収支率）に基づき、補助対象系統ごとに1.0%の収支率改善を目標として設定。

■ 取組内容

主な取組内容について、各地域分科会より後ほど報告

6 車両の取得に係る目的等

バリアフリー対応率、車両サービス水準の向上、老朽車両の置き換えによる車両故障の軽減等を目的に、計画的な車両更新を進める。

■ 目標

令和7年度までにバリアフリー対応率を47%以上に引き上げる。

■ 車両の取得計画の概要

年度	補助対象事業者	補助対象車両数	車両減価償却費等に要する国庫補助額（千円）
5	宮崎交通株式会社	36台 〔5年度取得 : 6台 取得後2年目以降 : 30台〕	47,101
6	宮崎交通株式会社	36台 〔6年度取得 : 6台 取得後2年目以降 : 30台〕	47,097
7	宮崎交通株式会社	36台 〔7年度取得 : 6台 取得後2年目以降 : 30台〕	47,096

7 協議会の開催状況

6月	3日	宮崎地域分科会
	9日	延岡・西臼杵地域合同分科会
	13日	日南地域分科会
	20日	西都地域分科会
	23日	日向・東臼杵地域分科会 小林地域分科会
	28日	都城地域分科会
6月	30日	宮崎県バス対策協議会

※宮崎・西都地域分科会については、別途書面協議
を実施